



2025年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年7月30日

上場会社名 ホウライ株式会社 上場取引所 東
コード番号 9679 URL <https://www.horai-kk.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 寺本 敏之
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務企画部長 (氏名) 三野 眞 TEL 03-6810-8117
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年9月期第3四半期の業績 (2024年10月1日～2025年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第3四半期	4,237	8.2	387	△12.4	497	△15.0	310	△39.5
2024年9月期第3四半期	3,915	6.7	442	24.7	584	6.6	513	37.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期第3四半期	74.19	—
2024年9月期第3四半期	122.71	—

(注) 当社は、2025年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期第3四半期	19,086	9,590	50.2
2024年9月期	19,799	9,379	47.4

(参考) 自己資本 2025年9月期第3四半期 9,590百万円 2024年9月期 9,379百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	66.00	66.00
2025年9月期	—	0.00	—	—	—
2025年9月期 (予想)	—	—	—	22.00	22.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注2) 当社は、2025年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2024年9月期においては、当該株式分割前の実際の配当金額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の2025年9月期 (予想) の1株当たり年間配当金は66円となります。

3. 2025年9月期の業績予想 (2024年10月1日～2025年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,800	5.8	550	△3.7	650	△10.3	450	46.1	107.44

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(注2) 当社は、2025年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2025年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、2025年9月期業績予想 (通期) における1株当たり当期純利益を算出しております。なお、株式分割を考慮しない場合の2025年9月期の業績予想 (通期) における1株当たり当期純利益は322円33銭となります。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年9月期3Q	4,212,000株	2024年9月期	4,212,000株
② 期末自己株式数	2025年9月期3Q	23,925株	2024年9月期	23,703株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年9月期3Q	4,188,126株	2024年9月期3Q	4,188,297株

(注) 当社は、2025年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期貸借対照表に関する注記)	8
(四半期損益計算書に関する注記)	8
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が期待される中、緩やかな回復が続きました。個人消費については、一部に足踏みが残るものの、持ち直しの動きが見られ、企業収益も改善しました。一方で、アメリカの通商政策等の動向、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等から、不透明な状況が続きました。

このような状況下、当社は各事業がそれぞれの特性に応じた施策の推進に努めました。

当第3四半期累計期間の経営成績は、営業収益につきましては、不動産事業、千本松牧場、ゴルフ事業は前年同期を上回りましたが、保険事業は前年同期を下回り、全体では4,237百万円（前年同期比322百万円増）となりました。営業総利益につきましては、千本松牧場、ゴルフ事業は前年同期を上回りましたが、不動産事業は前年同期並み、保険事業は前年同期を下回り、全体では959百万円（前年同期比38百万円増）となりました。一般管理費は572百万円（前年同期比93百万円増）と前年同期を上回り、営業利益は387百万円（前年同期比54百万円減）となりました。営業外収益に計上したゴルフ会員権消却益は117百万円（前年同期比5百万円増）と前年同期を上回りましたが、営業外損益は全体で前年同期を下回り、経常利益は497百万円（前年同期比87百万円減）となりました。また、特別利益は投資有価証券売却益を計上した前年同期を大きく下回った一方、千本松牧場の売店・レストランのリニューアルに伴い、旧施設の除却・取り壊し費用及び減損損失として特別損失58百万円（前年同期比41百万円増）を計上しました。この結果、四半期純利益は310百万円（前年同期比203百万円減）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりです。

①保険事業

リスク管理の専門家としての強みを活かして、お客様に寄り添ったコンサルティングを推進するとともに、リスク管理パートナーとしての総合提案力の深化や、継続的な成長を実現し得る組織・体制の強化に努めました。

営業収益は、前年同期に損害保険分野において大口のご契約をいただいたことの反動を主因に前年同期比34百万円減少し、830百万円となりました。営業原価は人件費等の増加を主因に前年同期を上回り、営業総利益は292百万円（前年同期比51百万円減）となりました。

②不動産事業

テナント様・入居者様に「安心安全」かつ「快適」な空間のご提供に努め、所有不動産の入居率はほぼ満室状態で安定的に推移しました。2023年11月に取得したユーレジデンス西大井の賃料収入寄与もあり、営業収益は967百万円（前年同期比14百万円増）となりました。営業原価は環境負荷を軽減する空調機器への更新に伴う減価償却負担の増加等により前年同期を上回り、営業総利益は前年同期並みの585百万円となりました。

③千本松牧場

観光施設においては、2024年10月にファームショップ（売店）・ファームレストランをリニューアルオープンしましたが、2025年4月には、天然温泉水を利用した「温泉じゃぶじゃぶ池」や那須野が原の自然を一望できる「千本松テラス」を新設してグランドオープンを迎えました。SNS等での情報発信に力を入れたことに加え、多くのメディアで話題になったこともあって、ご来場者数は大幅に増加し、前年同期比概ね1.5倍の増収となりました。

牧場外のソフトクリームショップは、2025年2月に埼玉県越谷市のイオンレイクタウンKazeに5ヵ店目をオープンしました。以後、既存店も含めてお客様に大変ご好評をいただいております。前年同期比増収となりました。

外販営業は、地元量販店向けの減収を主因として前年同期比減収となりましたが、ソフトミックスの卸売りや東京駅八重洲中央口改札内ショップでの当社製品の販売等、他社との協業に積極的に取り組んでおります。

酪農は搾乳牛頭数は前年同期比増加しましたが、搾乳量は前年同期比水準に届かず、また仔牛売却価格下落の影響もあり、前年同期比減収となりました。

この結果、営業収益は全体で1,848百万円（前年同期比297百万円増）となり、営業原価は施設のリニューアルに伴う費用計上等を主因に前年同期比増加し、営業総利益は135百万円（前年同期比62百万円増）となりました。

④ゴルフ事業

ゴルフ場の基盤であるコースコンディションの維持・向上に引き続き取り組み、ご来場者様から高くご評価いただきました。

また、ホームページの見やすさ向上、SNSやメール配信システムの積極的活用、各種プランのご提供等の情報発信に力を入れるとともに、会員様へのサービス充実、大学ゴルフ部の合宿誘致等で、より多くの方にご来場いただけるよう取り組みました。

そして、ご来場いただいたお客様に一層ご満足いただけるよう、クラブハウス売店における品揃えの工夫、レストランの食事の改善や接遇の向上、ご宿泊のお客様向けの夕食メニューの充実等に注力しました。

2025年6月には、西那須野カントリー倶楽部において5年連続となる男子プロトーナメントが開催され、参加いただいた男子プロからコースコンディションを高く評価いただくとともに、ネット配信等を通じて、わが国有数のゴルフ場としての認知度を更に高めることができました。

当第3四半期累計期間のご来場者数は前年同期を上回り、営業収益は591百万円（前年同期比44百万円増）となりました。営業原価は施設改修及び販売促進に関わる費用の増加を主因に前年同期を上回り、営業総損失は53百万円（前年同期比28百万円改善）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期会計期間末における総資産は、19,086百万円となり、前事業年度末比713百万円減少しました。

流動資産は、現金及び預金の減少を主因に前事業年度末比683百万円減少し、2,438百万円となりました。固定資産は、有形固定資産の減少を主因に前事業年度末比29百万円減少し、16,647百万円になりました。

負債は、流動負債のその他に含まれる未払金の減少を主因に、前事業年度末比923百万円減少し、9,495百万円になりました。

純資産は、四半期純利益の計上を主因に、前事業年度末比210百万円増加し、9,590百万円になりました。自己資本比率は50.2%と、前事業年度末比2.8ポイント上昇しました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2024年10月31日の「2024年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,399,821	1,683,635
売掛金	355,729	341,486
商品及び製品	130,159	153,106
仕掛品	7,830	22,372
原材料及び貯蔵品	58,428	65,028
その他	170,377	173,255
貸倒引当金	△35	△42
流動資産合計	3,122,310	2,438,843
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,115,021	4,538,483
土地	9,147,406	9,147,406
その他(純額)	2,461,536	1,990,302
有形固定資産合計	15,723,964	15,676,192
無形固定資産	24,859	46,137
投資その他の資産		
その他	928,552	925,450
投資その他の資産合計	928,552	925,450
固定資産合計	16,677,376	16,647,780
資産合計	19,799,686	19,086,623
負債の部		
流動負債		
買掛金	101,860	119,621
未払法人税等	121,240	7,514
1年内返済予定の長期借入金	120,800	120,800
引当金	137,806	66,786
その他	1,290,126	754,896
流動負債合計	1,771,832	1,069,619
固定負債		
長期預り保証金	5,399,701	5,214,249
長期借入金	2,979,200	2,908,400
引当金	88,110	100,180
資産除去債務	103,355	104,101
その他	77,631	99,288
固定負債合計	8,647,998	8,426,219
負債合計	10,419,831	9,495,839
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,340,550	4,340,550
資本剰余金	527,052	527,052
利益剰余金	4,201,468	4,420,026
自己株式	△19,452	△19,817
株主資本合計	9,049,618	9,267,811
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	330,237	322,972
評価・換算差額等合計	330,237	322,972
純資産合計	9,379,855	9,590,784
負債純資産合計	19,799,686	19,086,623

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
営業収益	3,915,492	4,237,747
営業原価	2,994,454	3,277,859
営業総利益	921,038	959,888
一般管理費	478,976	572,606
営業利益	442,062	387,282
営業外収益		
受取利息	10	947
受取配当金	35,171	21,464
会員権消却益	112,333	117,475
その他	34,991	15,793
営業外収益合計	182,506	155,679
営業外費用		
支払利息	22,225	25,136
乳牛除売却損	12,932	18,222
その他	4,571	2,368
営業外費用合計	39,729	45,727
経常利益	584,840	497,234
特別利益		
固定資産売却益	161	299
投資有価証券売却益	144,303	—
特別利益合計	144,464	299
特別損失		
固定資産除売却損	17,725	54,541
減損損失	—	4,311
特別損失合計	17,725	58,852
税引前四半期純利益	711,580	438,681
法人税、住民税及び事業税	144,818	95,187
法人税等調整額	52,805	32,793
法人税等合計	197,624	127,980
四半期純利益	513,956	310,700

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	保険事業	不動産事業	千本松牧場	ゴルフ事業	計		
営業収益							
顧客との契約から生じる収益	864,820	11,745	1,546,254	546,233	2,969,055	—	2,969,055
その他の収益(注) 3	—	941,703	4,734	—	946,437	—	946,437
外部顧客への営業収益	864,820	953,449	1,550,988	546,233	3,915,492	—	3,915,492
セグメント間の内部営業収益又は振替高	—	—	2,963	—	2,963	△2,963	—
計	864,820	953,449	1,553,952	546,233	3,918,456	△2,963	3,915,492
セグメント利益又は損失(△)	343,656	586,853	72,439	△81,910	921,038	△478,976	442,062

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△478,976千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく不動産賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	保険事業	不動産事業	千本松牧場	ゴルフ事業	計		
営業収益							
顧客との契約から生じる収益	830,076	12,039	1,840,313	591,041	3,273,470	—	3,273,470
その他の収益 (注) 3	—	955,649	8,627	—	964,276	—	964,276
外部顧客への営業収益	830,076	967,689	1,848,940	591,041	4,237,747	—	4,237,747
セグメント間の内部営業収益又は振替高	—	—	3,786	—	3,786	△3,786	—
計	830,076	967,689	1,852,727	591,041	4,241,534	△3,786	4,237,747
セグメント利益又は損失 (△)	292,378	585,984	135,004	△53,479	959,888	△572,606	387,282

- (注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△572,606千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく不動産賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位：千円)

	保険事業	不動産事業	千本松牧場	ゴルフ事業	全社・消去	合計
減損損失	—	—	4,253	—	58	4,311

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期貸借対照表に関する注記)

1 現金及び預金

前事業年度 (2024年9月30日)

現金及び預金のうち79,572千円は、当社が損害保険代理店として、保険契約者より領収した損害保険料を損害保険会社に納付するまでの一時預り金であり、資金使途が制限されており専用口座に別途保管しております。

当第3四半期会計期間 (2025年6月30日)

現金及び預金のうち112,520千円は、当社が損害保険代理店として、保険契約者より領収した損害保険料を損害保険会社に納付するまでの一時預り金であり、資金使途が制限されており専用口座に別途保管しております。

2 担保資産及び担保付債務

担保に供している資産は、次のとおりであります。

	前事業年度 (2024年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2025年6月30日)
建物	1,941,368千円	1,865,596千円
構築物	527	485
機械及び装置	6,764	5,927
土地	4,141,256	4,141,256
合計	6,089,916	6,013,265

担保付債務は、次のとおりであります。

	前事業年度 (2024年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2025年6月30日)
1年内返済予定の長期借入金	120,800千円	120,800千円
長期借入金	2,979,200	2,908,400
合計	3,100,000	3,029,200

(四半期損益計算書に関する注記)

減損損失

前第3四半期累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)

該当事項はありません。

当第3四半期累計期間(自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)

用途	場所	種類	減損損失 (千円)
処分予定資産	千本松売店・レストラン等 (栃木県那須塩原市)	建物	1,937
		工具、器具及び備品	210
ヨーグルト生産設備	那須乳業工場 (栃木県那須塩原市)	建物	71
		機械装置	1,992
		ソフトウェア	98
合計			4,311

当社は、管理会計上の事業区分に基づく事業部を単位として資産をグルーピングしており、固定資産について、資産グループごと、また、遊休資産及び処分予定資産については個別物件単位で減損の兆候の有無を判定しております。

上記の処分予定資産については、老朽化した建物等の取り壊しの方針の決定により、ヨーグルトの生産設備については、製造縮小に伴い当該製品製造に係る設備が使用中止となったため、関連する資産について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失として特別損失に計上しました。

なお、回収可能価額は使用価値により測定しておりますが、将来キャッシュ・フローが見込めないため零としております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	280,568千円	330,211千円